

目次

第二集 発刊を喜ぶ 日野市長 馬場 弘融	2
発刊によせて 日野宿発見隊代表 加地 勝	3
目次	4
まちかど写真館 in ひの	
東光寺薬師堂	6
成就院	7
米軍機墜落 - 東光寺 -	8
薬王寺遠望	9
薬王寺堀から四ツ谷方面を望む	9
四ツ谷ガード付近に立つ天野トメさん親子	10
◦ 懐かしの写真	11
◦ 写真提供者よりひとこと 安西 清・敬子さん夫妻	11
日野停車場跡	12
八坂神社の裏の川 - 絵葉書 -	13
仮装行列 - かどや菓子店前 -	14
宮神輿渡御 - 森屋 (一ノ瀬家屋号) 前 -	15
渡邊家前 - 金子橋 -	16
◦ 懐かしの写真	17
◦ 写真提供者よりひとこと 渡邊 良勝・三保子さん夫妻	17
加組青年 - 御大典奉祝記念 -	18
佐藤信民翁の葬列	19
宮神輿渡御 - 仲町 -	20
奉納賽銭箱 - 下佐藤家前 -	21
日野尋常高等小学校	22
現一小付近	24
大昌寺山上から一小方面を望む - 町民運動会 -	24
◦ 懐かしの写真	25
◦ 写真提供者よりひとこと 土方 尚功・しづゑさん夫妻	25
大門橋	26
下佐藤家裏門	27
有山家 (屋号「綿十」) 前 - 下町 -	28
高木昂家 (屋号「角屋」) - 下町 -	29

蚕糸試験場日野桑園	30
露木鍛冶工場 - 下河原 -	32
岩澤栄司家の葉ボタン畑 - 下河原 -	33
ささら流し - 第一睦会 -	34
山屋敷の田んぼ	35
梨畑の作業 - 万願寺柴崎貫治梨園 -	35
谷戸・仲井の子どもたち	36
◦ 懐かしの写真	37
◦ 写真提供者よりひとこと 小野 完二さん	37
谷戸の熊野神社	38
仲井地区の集落	39
旧渡辺穀家 - 上田園 -	40
モノレール建設中 - 岩澤泰宏宅付近 -	41
万願寺の一里塚 - 旧岩澤泰宏宅 -	42
◦ 懐かしの写真	43
◦ 写真提供者よりひとこと 岩澤 泰宏・郁子さん夫妻	43
手動式田植え機 - 現万願寺中央公園北側付近 -	44
宮神輿渡御 - 万願荘 -	45
競馬場	46
馬車に乗ってドライブ	47
歩道橋の渡り初め - 万願荘 -	48
日野橋から羽田ヒューム管方面を望む	49
日野橋と日野の渡し	50
掲載写真撮影地点	52
日野宿発見隊	
日野宿発見隊の活動記録	54
掲載写真提供者・団体、その他の写真提供者・団体	56
奥付	56

日野宿と枝郷

甲州街道の宿場である日野宿は、街道の起点である日本橋から内藤新宿・下高井戸宿・上高井戸宿・布田五宿・府中宿を経て多摩川を渡り、日本橋から約10里(39.3km)のところにある宿場でした。

甲州街道は江戸幕府が定めた五街道の一つで、道中奉行の管轄下にありました。そのため日野宿も道路や並木・宿場・人馬賃銭などは、すべて道中奉行の支配を受けましたが、一方では幕府の直轄領として代官の支配を受ける村でもあり、その場合は「日野本郷」と呼ばれていました。

日野本郷は、日野宿と枝郷と呼ばれる周辺の農村部(東光寺・四谷・北原・下河原・万願寺・谷戸・仲井・山下)からなり、2225石余の村高を持つ比較的大きな村でした。

日野宿という呼び名は、日野本郷と同じように枝郷を含む広い範囲を指して使われる場合と、宿場としての町並を形成する下宿・中宿(仲宿)・上宿の狭い範囲を指して使われる場合があります。

(日野市教育委員会発行『河野清助日記 第一巻』谷春雄氏解説より)

表紙：田園に遊ぶ子どもたち - 下町 - 昭和28(1953)年頃
山本昭三氏撮影
鈴木藤隆氏所蔵
日野宿の北側には田んぼが広がっていました。奥に見えるのは蚕糸試験場日野桑園の建物です。

裏表紙：日野宿発見隊の印
草薙 誠氏デザイン
現在の写真撮影
古い写真の修整：井上博司